



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 オルガノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6368 URL <http://www.organo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鯉江 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 安藤 実

TEL 03-5635-5111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	32,003	△6.9	△235	—	△182	—	△253	—
29年3月期第2四半期	34,364	2.6	687	—	533	—	89	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 △47百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △324百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	△22.02	—
29年3月期第2四半期	7.77	—

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	86,531	—	48,635	—	56.0	—
29年3月期	95,405	—	49,034	—	51.3	—

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 48,491百万円 29年3月期 48,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	6.00	11.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	25.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期期末配当の内訳 普通配当 5円00銭 創立70周年記念配当 1円00銭

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は10円となります。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	△3.8	3,050	△25.9	2,950	△29.1	2,000	△26.8	173.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	11,589,925 株	29年3月期	11,589,925 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	77,956 株	29年3月期	75,780 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	11,513,287 株	29年3月期2Q	11,515,991 株

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第72回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりです。

1. 平成30年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末 5円00銭(注1)

2. 平成30年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期 34円74銭

(注1) 株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注2) 平成30年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は10円となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米の政治・政策面のリスクや北朝鮮における問題など先行きの不透明感が残る中、先進国による内外需要の持ち直しや新興国におけるインフラ需要などに支えられて世界経済が全般的に回復傾向にあることを背景に、電子部品等を中心とした輸出の増加などによって企業の生産活動が拡大し、設備投資も堅調に推移するなど緩やかな回復傾向が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境は、一般産業分野において、国内の老朽化設備の更新、合理化・省力化投資などが底堅く推移する中、日系企業における東南アジア地域の設備投資は勢いを欠く状況が続いております。一方で国内外の電子産業分野における設備投資は活発に推移しており、台湾では若干の停滞が見られるものの、半導体の国産化政策を背景に積極的な設備投資が続く中国とともに、国内でも半導体・ウェハ等の大規模な設備投資計画が相次いで進行しております。

このような状況の下、当社グループは、常に3年先を見通した事業運営を継続するため、最終年度を固定せず毎年ローリングする中期計画に取り組んでおります。平成31年度を見据えた計画では、当社グループが強みを有する「電子」「電力」産業分野及び水処理薬品や標準型水処理機器等の「機能商品事業」の更なる強化を中心とした戦略の実行に加え、これまで水処理分野で培ってきた技術と経験を活かし、水以外の液体、さらにはガスの分離・精製など新たな事業分野への展開を検討しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は受注高39,588百万円（前年同期比3.3%増）、売上高32,003百万円（同6.9%減）、営業損失235百万円（前年同期は営業利益687百万円）、経常損失182百万円（前年同期は経常利益533百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失253百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益89百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[水処理エンジニアリング事業]

当事業の受注高につきましては、電子産業分野において、台湾では一部投資計画に遅れが見られたものの、活発に推移した国内の半導体・ウェハ関連の設備投資や、中国での半導体関連投資に対して積極的な営業活動を展開した結果、受注高31,020百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

売上高につきましては、中国で電子産業向けの売上高が大幅に伸びましたが、前期に大型案件の売上のあった台湾及び国内の一般産業分野の売上が減少した結果、売上高23,581百万円（前年同期比10.3%減）となりました。

利益面につきましては、売上高が減少したことに加え、研究開発投資の拡大や国内・海外での営業・技術・管理体制の強化などに伴って販売費及び一般管理費が増加した結果、営業損失1,037百万円（前年同期は営業損失133百万円）となりました。

[機能商品事業]

当事業におきましては、新たに卓上型の純水・超純水製造装置αシリーズを開発・上市した標準型水処理機器分野、電子産業向けの水処理薬剤の販売が好調に推移した水処理薬品分野、介護用等の食品材料が好調に推移した食品分野でそれぞれ受注・売上が伸び、受注高8,567百万円（前年同期比5.5%増）、売上高8,422百万円（同4.3%増）となりました。一方利益面につきましては、売上拡大によって売上総利益は増加したものの、研究開発投資等の販売費及び一般管理費が増加した結果、営業利益802百万円（同2.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ8,873百万円減少し、86,531百万円となりました。これは主に、仕掛品を中心としたたな卸資産2,150百万円の増加に対し、受取手形及び売掛金6,211百万円、現金及び預金5,662百万円の減少によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8,475百万円減少し、37,896百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金4,539百万円、短期借入金1,478百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ398百万円減少し、48,635百万円となりました。これは主に、配当金の支払及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴う利益剰余金598百万円の減少によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5,662百万円減少し、5,677百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動によって支出された資金は、2,416百万円となりました。これは主に、売上債権の減少6,282百万円による資金の増加に対し、仕入債務の減少4,593百万円、たな卸資産の増加2,148百万円による資金の減少があったことによるものであります。（前第2四半期連結累計期間は307百万円の収入）

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動によって支出された資金は、832百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出538百万円によるものであります。（前第2四半期連結累計期間は590百万円の支出）

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動によって支出された資金は、2,431百万円となりました。これは主に、短期借入金の純減額1,467百万円、長期借入金の返済による支出600百万円によるものであります。（前第2四半期連結累計期間は957百万円の支出）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年10月27日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更はありません。なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,340	5,677
受取手形及び売掛金	32,958	26,746
リース投資資産	16,835	16,016
商品及び製品	4,237	4,269
仕掛品	1,613	3,681
原材料及び貯蔵品	1,185	1,236
繰延税金資産	619	865
その他	2,033	3,329
貸倒引当金	△218	△236
流動資産合計	70,605	61,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,762	17,964
減価償却累計額	△11,877	△12,052
建物及び構築物（純額）	5,884	5,911
機械装置及び運搬具	5,397	5,402
減価償却累計額	△4,679	△4,738
機械装置及び運搬具（純額）	718	663
土地	12,558	12,556
建設仮勘定	200	256
その他	4,680	4,770
減価償却累計額	△3,965	△4,067
その他（純額）	714	703
有形固定資産合計	20,077	20,090
無形固定資産	1,007	1,064
投資その他の資産		
投資有価証券	1,500	1,659
繰延税金資産	1,763	1,706
その他	500	470
貸倒引当金	△48	△45
投資その他の資産合計	3,715	3,790
固定資産合計	24,800	24,945
資産合計	95,405	86,531

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,308	11,768
短期借入金	14,309	12,830
未払法人税等	842	350
前受金	1,729	1,614
繰延税金負債	4	8
賞与引当金	987	1,017
製品保証引当金	253	166
工事損失引当金	33	20
その他	3,171	2,025
流動負債合計	37,640	29,802
固定負債		
長期借入金	2,601	2,001
繰延税金負債	12	15
退職給付に係る負債	5,981	5,945
その他	135	130
固定負債合計	8,730	8,093
負債合計	46,371	37,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	34,023	33,424
自己株式	△343	△349
株主資本合計	49,413	48,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285	332
繰延ヘッジ損益	△6	△1
為替換算調整勘定	△163	△109
退職給付に係る調整累計額	△624	△538
その他の包括利益累計額合計	△509	△316
非支配株主持分	130	143
純資産合計	49,034	48,635
負債純資産合計	95,405	86,531

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	34,364	32,003
売上原価	26,620	24,790
売上総利益	7,744	7,212
販売費及び一般管理費	7,057	7,448
営業利益又は営業損失(△)	687	△235
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	11	12
持分法による投資利益	32	85
その他	18	19
営業外収益合計	66	124
営業外費用		
支払利息	38	32
為替差損	117	11
貸倒引当金繰入額	57	21
その他	7	6
営業外費用合計	220	72
経常利益又は経常損失(△)	533	△182
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産廃棄損	3	1
投資有価証券売却損	0	-
投資有価証券評価損	149	-
施設利用権評価損	2	-
特別損失合計	154	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	378	△183
法人税等	272	51
四半期純利益又は四半期純損失(△)	106	△235
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	17
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	89	△253

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	106	△235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	45
繰延ヘッジ損益	6	5
為替換算調整勘定	△515	49
退職給付に係る調整額	83	86
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△430	188
四半期包括利益	△324	△47
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△329	△60
非支配株主に係る四半期包括利益	5	13

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	378	△183
減価償却費	449	454
引当金の増減額(△は減少)	△47	△56
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	71	89
受取利息及び受取配当金	△15	△20
支払利息	38	32
為替差損益(△は益)	66	16
持分法による投資損益(△は益)	△32	△85
固定資産売却損益(△は益)	0	△0
固定資産廃棄損	3	1
投資有価証券売却損益(△は益)	0	-
投資有価証券評価損益(△は益)	149	-
施設利用権評価損	2	-
売上債権の増減額(△は増加)	8,144	6,282
リース投資資産の増減額(△は増加)	△2,027	818
たな卸資産の増減額(△は増加)	△498	△2,148
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,632	△4,593
その他	186	△2,099
小計	1,236	△1,492
利息及び配当金の受取額	14	18
利息の支払額	△39	△32
法人税等の支払額	△902	△917
法人税等の還付額	-	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	307	△2,416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△337	△538
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△247	△127
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の売却による収入	0	-
貸付けによる支出	-	△150
貸付金の回収による収入	0	0
その他	-	△11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△590	△832
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	465	△1,467
長期借入金の返済による支出	△1,200	△600
配当金の支払額	△287	△345
その他	65	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△957	△2,431
現金及び現金同等物に係る換算差額	△299	18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,538	△5,662
現金及び現金同等物の期首残高	7,207	11,340
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,668	5,677

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	26,288	8,076	34,364	34,364
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	26,288	8,076	34,364	34,364
セグメント利益又は損失(△)	△133	820	687	687

(注) セグメント利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	23,581	8,422	32,003	32,003
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	23,581	8,422	32,003	32,003
セグメント利益又は損失(△)	△1,037	802	△235	△235

(注) セグメント利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業損失との間に差異はありません。